

事務事業No.	6-	4
---------	----	---

事業名	塵芥処理経費		会計	款	項	目
			一般	4	2	1
施策	4 快適なまち		課名	環境防災課		
	4-1 環境と共生するまちをつくる		係名	環境資源係		
	4-1-1 循環型社会の形成					
主要施策	①ごみ収集・処理体制の充実		②ごみ減量化の啓発と推進			
	③3R運動の促進					

① 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	ごみの適正排出、分別の徹底を行い効率的で衛生的なごみ収集を行う。
事業内容	広域的な処理体制のもと、ごみの適正排出、分別の徹底を行い関係法令に即した効率的で衛生的な分別収集体制の中で、委託業者により一般家庭から排出される、可燃ごみ、不燃ごみ、プラスチックごみを収集した。 また、粗大ごみについては、各学校区別に年4回の搬入日を指定し、個人が家具・布団類・金属・小型家電等回収場所の分類に分けた搬入を行ない、町で処分を行った。 不法投棄については、啓発車両でのパトロールを行いながら、不法投棄されたごみを発見したら回収し処分を行った。			

② 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	平成31年(目標)		
	1	ごみ収集量		4,590	4,501	t	↓	4,447		
2	粗大ごみ処理量		362	393	t	↓	328			
3	不法投棄件数		105	72	件	↓				
4										
5										
			平成29年度(決算)		平成30年度(決算)		平成31年度(予算)			
全体事業費(千円) A+B			373,647		381,985		395,402			
財源内訳	直接事業費 A		373,647		381,985		394,478			
	うち一般財源		355,741		361,264		367,624			
人件費(千円) B			0		0		924			
内訳	一般職員(人・千円)				0		0		0.14	924
	臨時職員(人・千円)				0		0			0

③ 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		町関与の必要性	B 町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	III 要改善(事業は継続するが、更なる改善が必要)					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30年度の改善計画		③取組の課題	町所有の塵芥収集車について、現行の体制を維持するのか、委託業者の車両を借り上げる方式とするのか、比較検討が必要。
②H30年度に実施した取り組み	羽毛布団の回収の実施。 集積所の整備(4自治会)	④今後の改善計画	一般廃棄物処理計画の中間見直しを行うことと、一般ごみ収集委託の変更。集積所設置補助金は、各自治会の拠点回収には必要不可欠であり、本補助金を廃止すると在来地区も戸別回収の声が上がる可能性がある。